

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？

毎日暑いですね。移動中の車の中と、外の現場とでは温度差が10度以上あり、なんか知らない内に身体がだるくなったりし

て風邪気味になっている堀内貢次です。

出来るだけ身体を冷やさないように、汗をかいたら直ぐに着替えをしたり、一枚羽織るものを横に置いておいた方が、この時期を乗り切るのに大切ですね。 それでは、今月もよろしくお願い致します。

「鳳凰ほうおう三山(地藏岳)登頂」

先月、山梨県で最高気温を記録した辺りに、地藏岳という南アルプスの山に登ってきました。

本来は、地藏岳・観音岳・薬師岳の鳳凰三山をセットで登るのが望ましいのですが、朝の出発が遅くなったことと、今回の猛暑は、山の上でもかなりきつくて、めげてしまい、



地藏岳の一山になってしまいました。地藏岳という名前通りに頂上にはお地藏さんだらけで、少し異様でしたが、この日は天候に恵まれ、富士山、北岳、八ヶ岳などが全方向で見ることができて最高の日となりました。



「築20年の伊豆石の劣化復元」

ある個人宅のお風呂が伊豆石で出来ているのですが、20年来、湿気や乾燥を繰り返したために、石の表層が劣化し、伊豆石の表面が剥離している部分も出ています。

今回、入居されたお客様から、伊豆石の全体洗浄を兼ねた劣化部分の改修工事の依頼を受けました。

まず、表層剥離した部分は、その周辺も既に劣化が進んでいるので、範囲を広めに、時間をかけて研磨していきます。出来るだけ深く削り、表層の凹凸感が無くなるまで磨き、最後は、全体的にフラット感を出していきます。

次に、石目に入り込んだ汚れ(石鹼カスや皮脂汚れ、水垢等)は研磨だけでは取りきれないので、まず、アルカリ洗浄

と酸性洗剤洗浄を行います。こうすると伊豆石がしっかりと濡れてきます。更に、伊豆石本来の緑味を深くするように薬剤を塗布し、十分にすすぎ洗いをして完了しました。



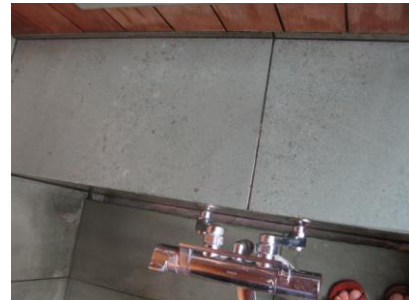
1. 表層劣化の進んだ伊豆石



2. 研磨施工



3. 石目に入った汚れを洗浄



4. 施工完了後

「ピアノ壁に出た原因不明の濡れジミ」

エントランスホールの大理石(ピアノ)壁の根石部分に、深い濡れジミが発生しています。油シミのような濃い色ですが原因は不明です。取り敢えず、アルカリ洗剤で表面をしっかりと洗った後に、シミ抜き剤を塗布してドライヤーで加熱しながら抜いていくと抜けてきました。



(編集後記) 7月に受けた健康診断で血圧がかなり高く、あと2ポイント高かったら胃のバリウム検査が出来ないくらいでした。少し健康に注意しないといけないですね。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株)ケイ・アンド・エス 堀内貢次(ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp